

(1)「清水区のまちづくりの拠点」

基本方針 1

清水区のまちづくりの拠点

人と人がつながり、まちに賑わいを生み出す庁舎

【基本的な機能分類】

【目指すべき具体機能・方策イメージ】

①人と人をつなげる機能

- 市民活動に利用できる交流・コミュニティスペース
 - ・ 講演会やイベント、展示など多目的に利用できる共用の交流スペース（市民ギャラリーや臨時窓口としても利用）
 - ・ 地域コミュニティルームとして市民や市民団体も利用できる共用会議室
- 若者・学生が活動できる場
 - ・ 大学や各種学校と連携できる施設の検討
 - ・ 若者、学生のプロジェクトが活用できる場（共用会議室など）
- 人と仕事を結びつける場
 - ・ オープンイノベーションの場
 - ・ 人々の多様な働き方を実現する場

②観光資源を活かして
交流を生み出す機能

- 観光支援機能
 - ・ 清水のまちの紹介や観光案内を提供できる情報ステーション
 - ・ 富士山ビューポイント
- 周辺施設と連携した機能
 - ・ 周辺施設とつながる歩行者動線の確保（ペDESTリアンデッキによる連結・休憩スペース等の整備）
- 清水都心の回遊性を生み出す場
 - ・ レンタサイクルステーション
 - ・ 夜間、休日など駐車場を開放

③日常の賑わいを
生み出す機能

- 気軽に憩い、過ごせるスペース
 - ・ 海や富士山を眺めながら、待ち合わせなどに利用できるロビーや屋外スペース
 - ・ 屋外広場などの休憩スペース
 - ・ ライブラリー機能を備えた憩いのスペース
- 市民生活に溶け込み、誰でも利用できる利便機能
 - ・ カフェテリア、レストラン、コンビニエンスストアなどの店舗
 - ・ ATMコーナー、自販機コーナーなど

2 庁舎が目指す機能「基本方針を実現するための機能」

(2)「清水区民の行政サービスの拠点」

基本方針 2

清水区民の行政サービスの拠点

経済性に優れ、誰もが訪れやすく使いやすい庁舎

【基本的な機能分類】

①ユニバーサルデザイン

【目指すべき具体機能・方策イメージ】

- 階段やEVなど移動空間における配慮
 - ・ 移動のしやすさ、段差の解消、身障者対応EV設置など
 - ・ 誘導、案内サインの工夫、充実化
- トイレなど行為空間における配慮
 - ・ 多目的トイレ設置、乳幼児対応
 - ・ キッズコーナー、授乳室の設置
- 誰もが利用しやすい駐車場
 - ・ 車いす利用者、高齢者、妊婦などへの配慮

②分かりやすく手続きしやすい 窓口機能

- 総合案内など分かりやすい窓口案内機能
 - ・ 総合案内（受付・コンシェルジュ）の充実
 - ・ 分かりやすい窓口サインの工夫
- 窓口の集約配置など手続き軽減への配慮
 - ・ 窓口のワンフロア集約配置（来庁者の移動負担軽減）
- 安心して利用できる窓口環境
 - ・ カウンターの工夫、個室相談室などプライバシー配慮
 - ・ 快適な待合スペース、モニターによる情報提供などの配慮

③機能的かつ効率的な 庁舎機能

- 機能的な執務環境の構築
 - ・ 部門連携のしやすい機能的な執務室レイアウト
 - ・ 来庁者、職員専用エリアなどのセキュリティゾーニング
- 将来変化・経済性への配慮
 - ・ コンパクトで機能の充実した庁舎、長寿命化などの工夫
 - ・ 組織変更等に対応しやすいオフィスレイアウト
 - ・ メンテナンスや設備更新しやすさ、維持管理費の軽減などのLCCに配慮した施設計画
- 循環型社会に対応した機能
 - ・ 自然採光、自然通風、水素燃料電池などの活用
 - ・ 高効率照明、空調等省エネ設備の積極導入

④利便性の高い交通アクセス 機能

- 公共交通の利便性向上
 - ・ バスや鉄道による来庁に配慮した立地
- 駐車場・駐輪場の利便性向上
 - ・ 駐車場・駐輪場の台数確保、配置動線の工夫
- 歩行者に配慮したアプローチ空間
 - ・ 来庁者の導線に配慮した出入口設置

2 庁舎が目指す機能「基本方針を実現するための機能」

(3)「清水区の安心安全の拠点」

基本方針 3

清水区の安心安全の防災拠点

人やまちを守り、様々な災害に対応する庁舎

【基本的な機能分類】

①災害に強い建物構造

【目指すべき具体機能・方策イメージ】

■ 耐震性能の確保

- ・ 防災拠点としての機能を発揮する耐震性能を確保
- ・ 非構造部材、設備の耐震性確保
- ・ 液状化対策

■ 津波・浸水被害の抑制

- ・ 想定される最大規模の津波に耐える設計
- ・ 重要設備を上層階に設置
- ・ 地下フロアを設けない階層構成
- ・ 漂流物対策

②災害時の業務継続機能

■ ライフラインのバックアップ

- ・ 非常用発電設備の充実
- ・ 電力引込の二系統化
- ・ 中水の活用
- ・ 耐震受水槽

■ 復旧活動のための機能

- ・ 電子ファイルのバックアップ
- ・ 通信回線の多重化
- ・ 活動のしやすい工夫（部門配置、車両動線等）

■ 区災害対策本部機能

- ・ 迅速で確実な指揮命令を行う本機能
- ・ 防災情報・通信システムの構築

③ウォーターフロントからの避難者の支援機能

■ 災害時の避難者受入機能

- ・ ウォーターフロント、駅周辺に住む、働く、観光で訪れる人々の24時間受入
- ・ 公衆無線LAN、災害時優先電話（公衆電話）などの複数の情報伝達手段の確保
- ・ 帰宅困難者の受入

■ 地域の防災力の向上

- ・ 津波から直ちに避難し、より安全な場所に移動できるペDESTリアンデッキの整備
- ・ 地域の見本となる災害に強い庁舎